熊本市手をつなぐ育成会
しょうぶの里開設２０周年記念誌

目　次

祝辞
熊本市長　大西　一史 …… 2
ごあいさつ
熊本市手をつなぐ育成会会長　西　　恵美 …… 3
開設２０周年
熊本市手をつなぐ育成会顧問　川村　隼秋 …… 4
ご挨拶
しょうぶの里施設長　髙橋　次郎 …… 5
ご挨拶
初代施設長　長田　幸基 …… 6
しょうぶの里２０周年に寄せて
四代目施設長　長田　紀義 …… 7
「祝！２０周年」
入所家族会ゆうゆう会会長　瀬上　　晶 …… 8
しょうぶの里２０周年記念
通所家族会あおば会会長　　岩永千鶴子 …… 8

しょうぶの里　令和３年度　経営計画（概要） …… 9
しょうぶの里　20 年のあゆみ …… 11
しょうぶの里　アートの歴史 …… 24
年間行事 …… 32
通所グループ …… 35
ホームぎんなん …… 37
ホーム千金甲 …… 37
ホームあいりす …… 37

祝　辞

熊本市長　**大西　一史**

障害者支援施設しょうぶの里が開設２０周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴施設におかれましては、平成１３年に開所されて以来、利用される皆様の思いや人権を尊重されるとともに、皆様が安全安心、心豊かで幸せな生活が送れるよう、利用者ニーズに対し真摯に向き合い、質の高い支援事業を続けてこられました。

また、積極的に地域行事への参加や施設開放等を実施され、地域共生社会の実現に向けご尽力をいただくなど、地域や社会に開かれた施設として本市の福祉行政に多大なるご貢献を賜っておりますことは、西会長並びに高橋施設長をはじめ、歴代の関係者の皆様方のご熱意とご努力の賜物であると、深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

さて、この２０年間を振り返りますと、国による障がい福祉の施策は大きな動きを見せ、障害者総合支援法改正、障害者差別解消法施行等、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、法整備がなされてまいりました。

本市におきましては、障がいのある方を取り巻く環境の変化に適切に対応するため、障がいのある方のニーズや、これまでの施策の課題等を踏まえ、障がい者生活プランを策定し、生涯を通じて切れ目のない支援体制の充実に努めることを基本的な方向性として定めました。

また、熊本市障がい福祉計画及び熊本市障がい児福祉計画のもと、誰もが住み慣れた地域で安心した日常生活を送れるよう、障害福祉サービスの提供体制確保等に取り組み、障がいの特性やライフステージに応じた施策を積極的に実施しているところでございます。

このような取組を進めていくためには、福祉に携わる皆様方のご協力が不可欠であり、本市では、引き続き、障がいのある方が必要な支援を受けながら自己決定し、社会のあらゆる分野の活動に積極的に参加できる環境づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも、皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、障害者支援施設しょうぶの里が開設 20 周年を迎えられ、さらにご発展されますことをご期待申し上げますとともに、関係者の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

ごあいさつ

熊本市手をつなぐ育成会
会長　西　惠美

熊本市手をつなぐ育成会が発足したのは、昭和３１年。

知的障がいのある方とその家族の幸せのため育成会の先輩方は、その時々の会員の声を形にして教育や福祉の充実のために一丸となって、運動を続けてこられました。そして、親亡き後のわが子の生活の場を作ってほしいとの会員の熱い思いに応えるべく開設したのがしょうぶの里でした。

振り返りますと、しょうぶの里ができて間もなく、国は新たな入所施設は作らず、地域の中で生活できるようグループホームを増やしましょうという政策に大きく舵を切りました。その政策に戸惑いながらも、しょうぶの里は福祉ホームから名称を変えた「グループホームぎんなん」を含め３つのグループホームのバックアップ施設としての機能も持ち、地域との交流を深めながら地域に溶け込んでいます。３０名の入居者の皆さんも、メンバーが多少変わりはしましたが、里の生活をそれぞれに楽しまれております。

あっという間の２０年という思いはあります。しかし、２０年という年月は、その年に生まれた子どもも成人になる年月です。６５年間、直面する様々な課題に取り組んで活動を続けてきた私たち育成会ですが、当初から今日に至るまで、大きな課題として引き継がれているのが「親亡き後」です。２０年前、しょうぶの里ができたことで、少し前進しましたが、その後も入所を希望する方は年を追うごとに増え続けております。

そこで、今年３月に策定した育成会の中長期ビジョンの取り組みの一つとして日中サービス支援型グループホーム開設を掲げ、検討を開始することにしました。しかしながら、ビジョンを実現させるためには、資金不足や人材の不足、また、育成会それぞれの事業所が抱える課題をひとつずつ解決しながら進めなくてはなりません。５年前の熊本地震、大雨の被害、そして、昨年来の新型コロナウィルスの感染拡大などが、私たちの生活に大きな変化をもたらし、この先どうなっていくのか予測のつかない状況が続いておりますが、それでも一歩ずつ着実に前に進んでいきたいと思っています。

育成会は運動体として活動しながら施設を運営するという特色を持っています。しょうぶの里２０年を振り返り、利用者さんやご家族の立場になって施設を運営するということがいかに大事か、あらためて実感しております。これからも、その精神を忘れずに、活動や施設運営を行っていきたいと思っております。今後とも、関係者の皆様、ご家族の皆様のご理解ご協力をお願いして挨拶とさせていただきます。

開設２０周年

熊本市手をつなぐ育成会
顧問　川村　隼秋

「しょうぶの里」開設２０周年を心からお慶び申し上げます。

しょうぶの里は、熊本市手をつなぐ育成会会員の熱い思いと長年の努力が、行政を動かし、地域の理解と協力により実現しました。

会員の高齢化や親亡き後も考えた地域生活支援事業の拠点として市当局の温かいご配慮により、平成１３年４月１日に開設しました。

開設２年後に始まった社会福祉基礎構造改革による制度改革は、支援費制度、障害者自立支援法、障害者総合支援法へと目まぐるしく変わりましたが、しょうぶの里は、時代の要請に応じ、常に利用者を中心に適切な対応がなされてきました。現在は、施設入所、生活介護、短期入所、日中一時支援Ａ型事業等の福祉サービスを提供するほか、グループホーム、生活困窮者レスキュー事業など、障がいのある人の地域生活支援の拠点としても機能が期待されております。

自立と自己実現を目指して、ゼロから発足した「しょうぶの里」ですが、制度改革を機会に取り組んだ「その人がやりたいこと・好きなことを活かした取り組み～アート活動～」は、利用者の自信となり、ますます発展しています。

利用者一人ひとりの意思を大切に、趣向を凝らした文化活動やレクリエーション、旅行などの事業展開を図るとともに、地域に開かれた施設として、地域行事などを通した地元の方々との交流・親睦を深めていることは、地域と共に生きる育成会活動の原点であります。

感謝の意を表してお祝いの挨拶といたします。

ご　挨　拶

しょうぶの里
施設長　髙橋　次郎

熊本市手をつなぐ育成会が立ち上げた障害者支援施設しょうぶの里は、令和３年４月に、開設満２０年を迎えることができました。満２０年を迎えたしょうぶの里を引き継ぐ者の一人として、ひと言ご挨拶を申し上げます。

保護者・ご家族、行政並びに関係の方々、地域の皆さま、旧職員におかれましては、２０年にわたりしょうぶの里へ温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。本来ならば、多くの方々と共に２０周年をお祝いをしたいところですが、誠に残念ながら、新型コロナウィルス感染拡大により、式典等の開催は断念せざるを得ず、大変申し訳なく思っているところです。

新型コロナウィルスに関しましては、昨年来、感染防止のため外泊や自宅への外出、面会などができない期間が長く続きました。さぞかし､利用者さんは家に帰りたかったでしょうし、家族に会いたかったことと思いますし、ご家族も、「どうしているだろうか」「元気にしているだろうか」と心配をされたことと思います。利用者さんと親御さん・ご家族が会えないつらさの中で、私たちも、利用者さんと親御さん・ご家族の思いを強く感じた期間でもありました。この思いこそ、私たちしょうぶの里の職員が最も大切にしていかなければならないものの一つだと改めて痛感したところです。

しょうぶの里の原点は、会内外の多くの方々の長年にわたる熱い願いやご努力、期待をもとにできた施設であるという点です。「水を飲むとき、井戸を掘った人のことを忘れてはならない」という中国のことわざのとおり、開設当時の皆さまの大変なご苦労とご努力、しょうぶの里への熱い思いを大切に継承し、利用者さん、親御さん・ご家族の気持ちを大切にしながら、共に歩んでまいりたいと思っております。

２０年の歳月を重ね、開設当時にはあまり話題となっていなかった高齢化や老化といったことが、徐々に、しかし、確実に課題となってきていますが、利用者さんが、しょうぶの里で毎日の生活を楽しみ、生き生きと豊かに過ごすことができるよう、職員一同、努力をしてまいりたいと思っております。

保護者・ご家族、行政並びに関係の方々、地域の皆さま、旧職員におかれましては、今後とも、しょうぶの里への温かいご支援ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、挨拶とさせていただきます。

ご　挨　拶

初代施設長　**長田　幸基**

平成９年４月１日、「はなぞの学苑」のことは何も知らず、苑長として赴任いたしました。

１週間後に就任式があり、不安と緊張で式場に入りました。すると、思ってもいなかった光景にびっくりしました。皆さん嬉しそうな笑顔と歓迎の大拍手が鳴りやまなくて、心から喜んでいる皆様の心情と真心が私の琴線に触れ、感激と喜びでした。

それから、毎日が感動ある楽しい勤務でした。利用者の方と一緒に高ぼうき作りに励んだこと、その他、思い出は語り尽くせないほどです。心が洗われた３年間でした。

その後、ゆっくり余生を楽しもうと思っていましたが、川村会長様より、熊本市手をつなぐ育成会の事業として、しょうぶの里の入所施設開設の準備をしているので、そこの初代施設長の依頼のお話がありました。はなぞの学苑からも利用者が入所することを聞いて、内心うれしくなり、決心し、お引き受けいたしました。

平成１２年（2000 年）の１０月から準備室に入りました。入所施設の事業経営は、無からの出発で事業計画は大変でした。理念・方針等はもとより、職員採用、生活日課、勤務体制など苦労しました。建設費用も億単位で多額の借金もしなければならないと聞き及び、少しでも力になればと寄付を募ってみようと思い立ちました。

「尊敬する１００人の恩人・知人・友人の皆様へ」という見出しで、元はなぞの学苑長長田幸基という文書を作成し、個人宛に寄付依頼文を送ることにしました。育成会の資金集めのテレホンカードを購入し、カードを入れて、まず、１００名の方に依頼文を送りました。足りずに、結局は３５０枚を購入、兄弟、叔父叔母、教え子まで幅を広げ、しょうぶの里の施設長が内定していることも付け加え、知人にお願いいたしました。

おかげで、約２５０名の方の賛同を得て浄財を寄付していただき、心から感謝いたしました。

２１世紀（2001）新世紀になって４月１日にしょうぶの里は、スタートしました。苦労もあり、悩みもありましたが、利用者の皆様、ご家族の皆様に支えられ、職員の皆様と共に充実した幸せなしょうぶの里勤務でした。事情があって２年半で辞することとなりましたが、その後、育成会の役員、監事等で令和３年（2021 年）６月までお世話になりました。

施設利用者の皆様の皆様との出会い、育成会の皆様との邂逅は、私の人生観を変え、第２の人生の目標がはっきりと定まり、気力と意欲を自覚しました。

その頃は、第二ぎんなん作業所としょうぶの里だけの事業団体でしたが、現在は、運動団体として、事業団体として大きな発展をされています。川村県会長様、西市会長様はじめ育成会の皆様の努力の賜物と思います。今後も楽しみにしています。

さて、世の中は、コロナ禍、自然災害、オリ・パラ等で大変な状況でありますが、熊本市手をつなぐ育成会が、なお一層、団結して、さらなるご発展を祈念いたします。

今後は、皆様とのご縁を大切に、お世話になったご恩を忘れず、手をつなぐ育成会で働けたことを誇りにして、思い出を温めながら元気に過ごしたいと思います。

最後になりますが、札幌での育成会全国大会において、家内同伴で出席し、表彰の栄誉に浴し、望外の喜びでした。皆様のお幸せをお祈りし、言葉足りませんが、ご挨拶といたします。

しょうぶの里２０周年に寄せて

四代目施設長　長田　紀義

しょうぶの里２０周年おめでとうございます。在任中の頃を今振り返ってみますと、いろいろなことが思い出されます。着任して利用者の皆さんに接していると、すぐ一人ひとりの個性が見えてきました。素晴らしい感性、記憶力、技能を持っており、驚きました。

その素晴らしさのひとつに、アート活動があります。絵画、木工、イラスト、オブジェ等から“好きなこと”“やりたいこと”を見つけ、それを続けることにより、アートに変わり素晴らしい作品となります。作品制作の時間は、静かで集中できる時間でした。その結果、できた作品をいろいろな作品展に応募し、数々の大賞、特別賞を取りました。中には、作品を会社の包装紙のデザインに採用されたり、登録を契約されている利用者もおられます。一方、生活面では、２人部屋で「テレビ、電燈、エアコン」で、意見の相違でトラブルが増えて、家族の要望もあり、１人部屋の増築にふみきりました。感染症に備えて、隔離する部屋や多目的室を付け加えて、皆さん喜んで生活していました。

そんな中で、平成２８年４月熊本地震が発生しました。大地震のあとのパニックの中、怖いと震える利用者を集め、職員が安心できるよう声掛けをし寄り添うことで、何事もなく夜を明かしました。裏山に土砂災害警報が出たため、避難を熊本西高、ゆたか学園、アクアドームで送り、支援物資、見舞金もいただき、感謝でいっぱいです。

今は、コロナ禍でしょうぶの里へは行けないのが残念です。しょうぶの里の皆さんのご多幸と施設の今後の発展をお祈り申し上げます。

「祝！２０周年」

入所家族会ゆうゆう会　会長　瀬上　晶

しょうぶの里開設２０周年、おめでとうございます。「十年ひと昔」と言いますが、とうとう「ふた昔」になりました。しょうぶの里に、入所初日、長男を送り届けたときのことは、よく憶えています。それから２０年、ここでの生活が、家庭で過ごした時間に近づいてきたと考えると万感胸に迫る思いです。

しょうぶの里での日常のご苦労といい、災害避難での生活を思えば、ただただ感謝の言葉しかありません。特にコロナ禍により、外泊が長期間叶いませんでしたが、それでも安心していられたのも、日頃からの温かいご支援によるもので、ここまで無事、乗り越えられた職員の皆さまは、私たちの誇りです。

同じ悩みを持つ親の集りから始まった育成会が、安心を提供する活動の具現化の一例として大切な役割を担う、このしょうぶの里の更なる発展を願うとともに、家族会も微力ながら協力していきたいと思います。

しょうぶの里２０周年記念

通所家族会あおば会　会長　岩永　千鶴子

しょうぶの里２０周年記念、誠におめでとうございます。通所あおば会より心からお祝い申し上げます。設立から２０年、これまで何かと携わってこられました皆様の喜びもひとしおかと思います。

ここまで無事、今日を迎えてこられたのも歴代施設長を始め、職員の方々の努力あってだとお察しいたします。

障がい者施設は、地域の方々の理解なしでは造ることが難しいとお聞きしますが、幸いなことに周りの方々に恵まれ、温かく受け入れてくださり、親睦を深め、何事かある時は、協力を惜しまず支えてくださっているようにお見え受けしています。

しょうぶの里は、育成会の親御さん達の努力の末、造られた施設と伺っています。その親御さん達のおかげで、今、あおば会の利用者さん達は、明るい場所でのびのびと楽しく通える場所があり、とても満足させていただいています。年に一度、里まつりがあります。その時は、皆さんワクワクしながら、指折り数えて待っています。そして、楽しい一日を皆で分かち合い、ストレス発散になっています。ここ数年、コロナというウイルスが現れ、中止になっています。とても残念なことです。でも、支援員の方が、いつも楽しいアイデアを考えてくださり、退屈することなく過ごしているようです。

これからも周りの方々の助けをいただきながら、家族共々よろしくお願いします。

今後のしょうぶの里のさらなる発展をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

社会福祉法人
熊本市手をつなぐ育成会

障害者支援施設
しょうぶの里 令和３年度　経営計画（概要）

基本理念

○ **「親の思いに応える」 ※会員の熱い思いと永年の努力で実現**
会員や関係者の期待や信頼に応える事業所。

○ **「主役は利用者さん」**
本人さんの意思や人権・人格を尊重、豊かで幸せな生活が送られるよう、誠実で丁寧、温かみのある質の高い支援。

○ **互いを思いやり支え合う家族のような関係**
利用者さんと職員は、家族より長い時間を一緒に過ごす。

○ **アート活動に重点**
開設以来、利用者さん一人一人のやりたいこと、好きなことから生まれたものを大切に。
（数々の作品展に入選。アールブリュット作家として活躍、企業のカレンダーや包装紙に採用されたりと活躍が拡大。）

沿　革

○ H13年　しょうぶの里（入所更生施設とショートステイ、デイサービスセンター）開所
○ H16年　グループホーム「千金甲」開所。
○ H22年　新体系、障がい者支援施設（入所支援、生活介護事業）へ移行。
○ H28年　グループホーム「あいりす」開設。

実施事業

○ 施設入所支援：30人
○ 生活介護（日中活動支援）：40人
（入所利用者30人、通所利用者10人）
○ 短期入所：5人／日中一時支援：6人
○ グループホーム：ぎんなん10人、千金甲4人、あいりす7人

現状及び課題

○ 20年目。利用者さんの加齢や高齢化や活動・運動量の少なさ等で活動レベルが徐々に低下。

○ 親さんの高齢化、親亡き後も現実課題に。

○ 日中活動の充実やメリハリや変化のある生活、余暇の過ごし方の工夫等の必要性。

家族・地域・関係機関との連携

○ 入所、通所の家族会との強い連携
○ 地域や社会に開かれた施設
・積極的に地域の行事参加や施設開放、設備の貸出等を実施。
○実習等の積極的な受け入れ
・特別支援学校の実習や体験、専門学校・短大・大学の実習、介護等体験等

目指す姿

事業所
○ 利用者さんや家族・保護者の思いや意向を尊重した施設運営。
○ 家族や関係者、会員等の願いや期待に応えられる事業所。
○ 積極的な情報発信と、開かれた施設。

利用者さん
○ 主役である利用者さんが、健康で安全安心、メリハリがあり、希望ができるだけ実現される豊かで喜びのある生活が送られること。

職員
○ 水平の関係で、利用者さんの意思や人権・人格を尊重、丁寧で誠実、温かみのある支援に徹する。
○ 支援の質の向上を目指し、日々、自己研鑽に努力。
○ 育成会事業所としての期待や信頼に応えられる倫理観や人権感覚を持つ。

具体的取組・方策

① 開設までの経緯や理念等を常に押さえる。
福祉サービスの質の充実、向上に努める。
② ホームページ更新、便り「おれんじの屋根」の定期発行、地域に開かれた行事の開催等。

① 日中活動の充実
※メリハリのある生活の実現
※体力低下・老化防止に向けた活動の重視
❶ 体を動かす活動の積極的な取り入れ
❷ 外での活動の充実（山登り、畑作業等）
❸ 利用者さんと職員２人の「自由の旅」の充実
② 健康管理の徹底や個に配慮した食事の提供

① 職員研修の充実
・外部研修への積極的参加と復講の実施。
・OJT、Off-JTの研修の強化。
・特に人権や虐待防止等に関する研修充実による人権意識の向上
②「しょうぶの里職員10の誓い」の唱和・確認
③ 自己評価シートによる自己目標設定、評価

しょうぶの里職員の10の誓い

1　私たちは、利用者さんの幸福実現のため、身を惜しまず、気配りを怠らず、積極的に行動します。

2　私たちは、常に礼儀正しく、明るく、笑顔で、心を通い合わせて支援します。

3　私たちは、家族と共に喜び・悩み、家族のように常に温かみのある姿勢で接します。

4　私たちは、利用者さんのことを第一に考え、誰にでも公平に、誠意を持って支援します。

5　私たちは、利用者さんを尊敬し、素直さに学び、謙虚さと感謝の気持ちで接します。

6　私たちは、利用者さんの気持ちを察し、じっくり話を聞いて、可能な限り個性や意思を尊重します。

7　私たちは、利用者さんの人権・人格を尊重し、いからず、あせらず、暴言、暴力をふるいません。

8　私たちは、ホウ（報告）レン（連絡）ソウ（相談）を徹底し、チームワークを大切にします。

9　私たちは、常に問題意識をもち、本気で、自己研鑽と自己変革に努めます。

10　私たちは、ＮＯと言わず、愚痴をこぼさず、言い訳をせず、他の人のせいにしません。

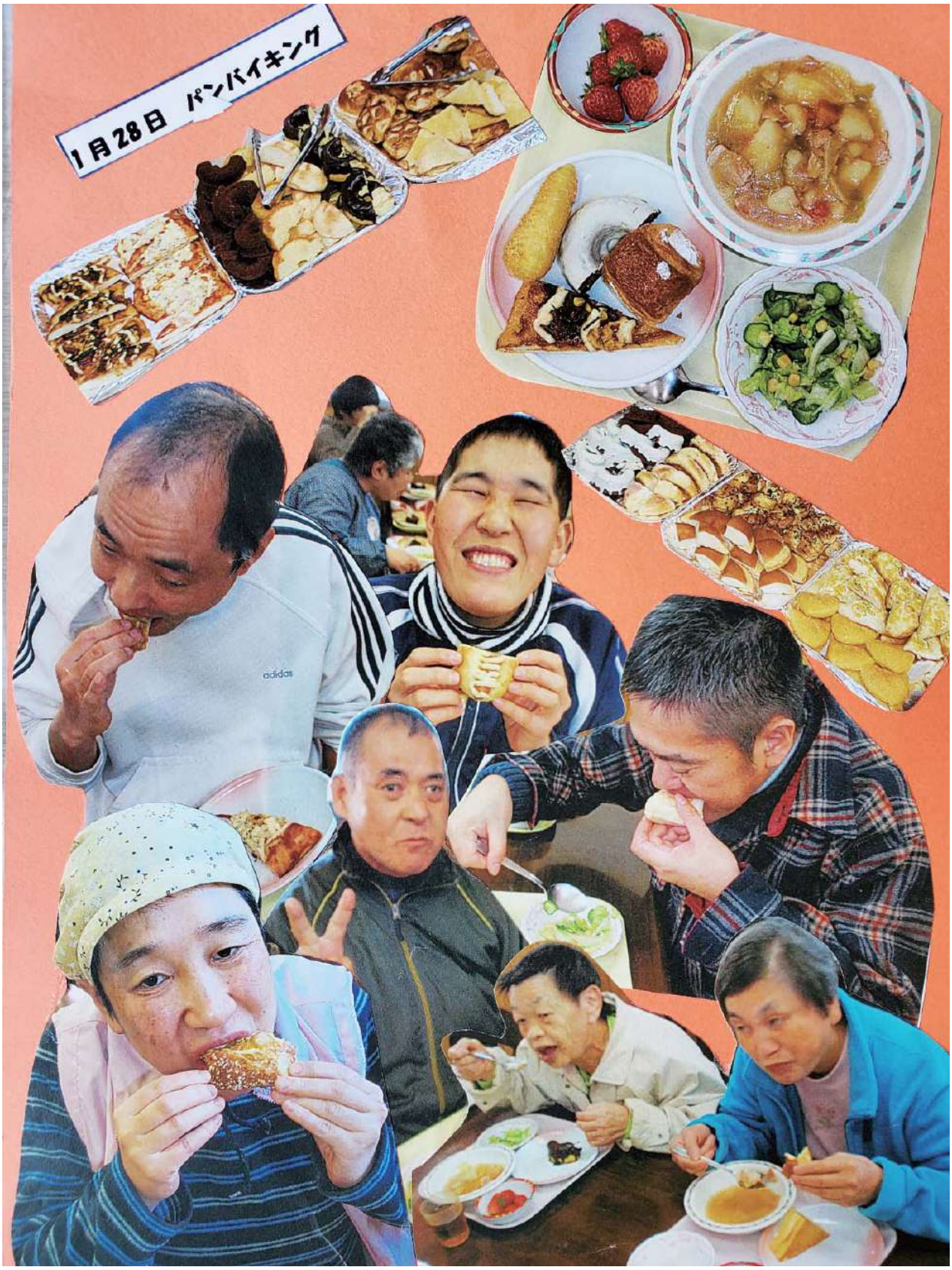
しょうぶの里
２０年のあゆみ

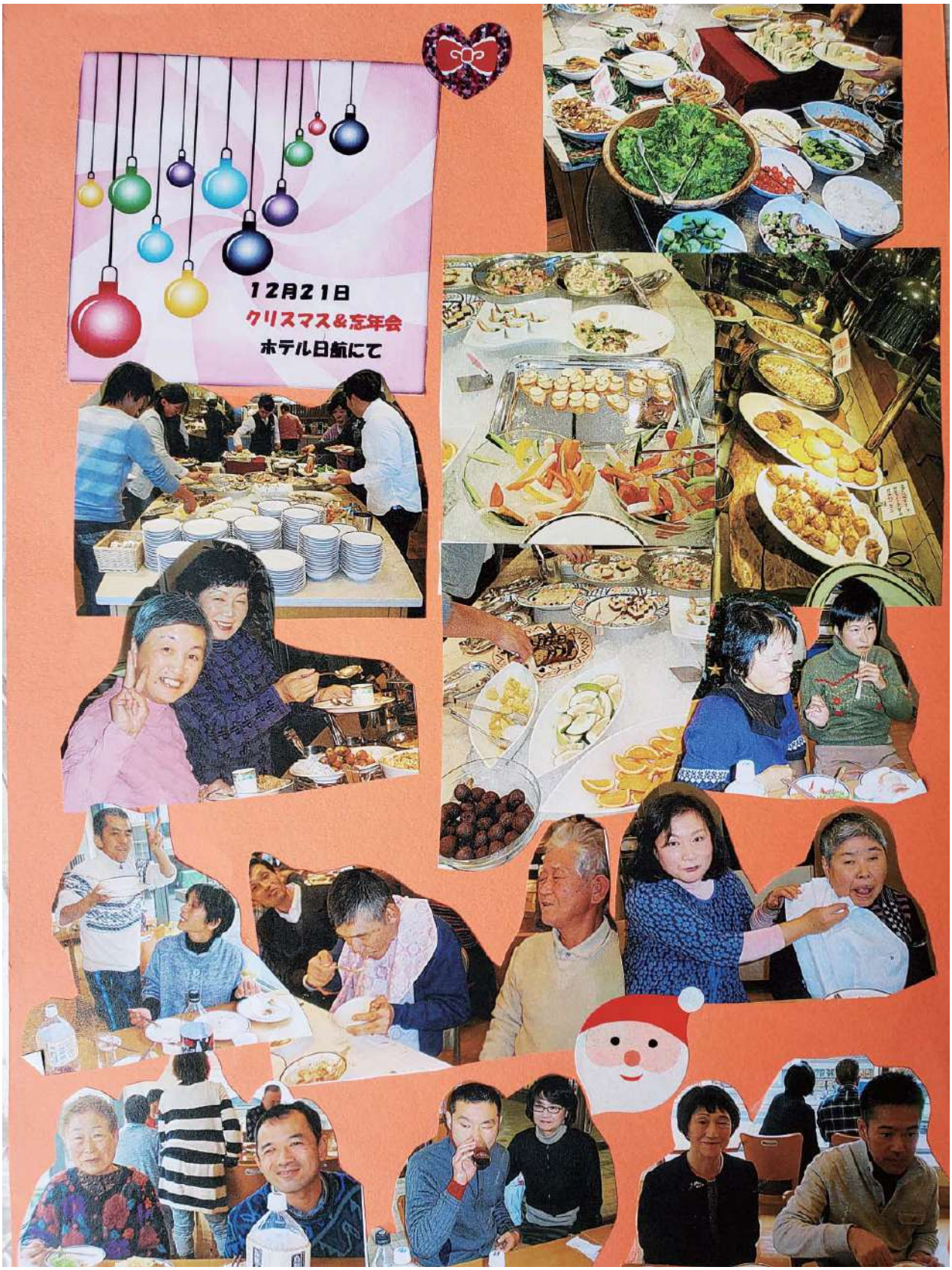
平成１３年４月～令和３年１２月

社会福祉法人　熊本市手をつなぐ育成会　障害者支援施設　しょうぶの里　沿革

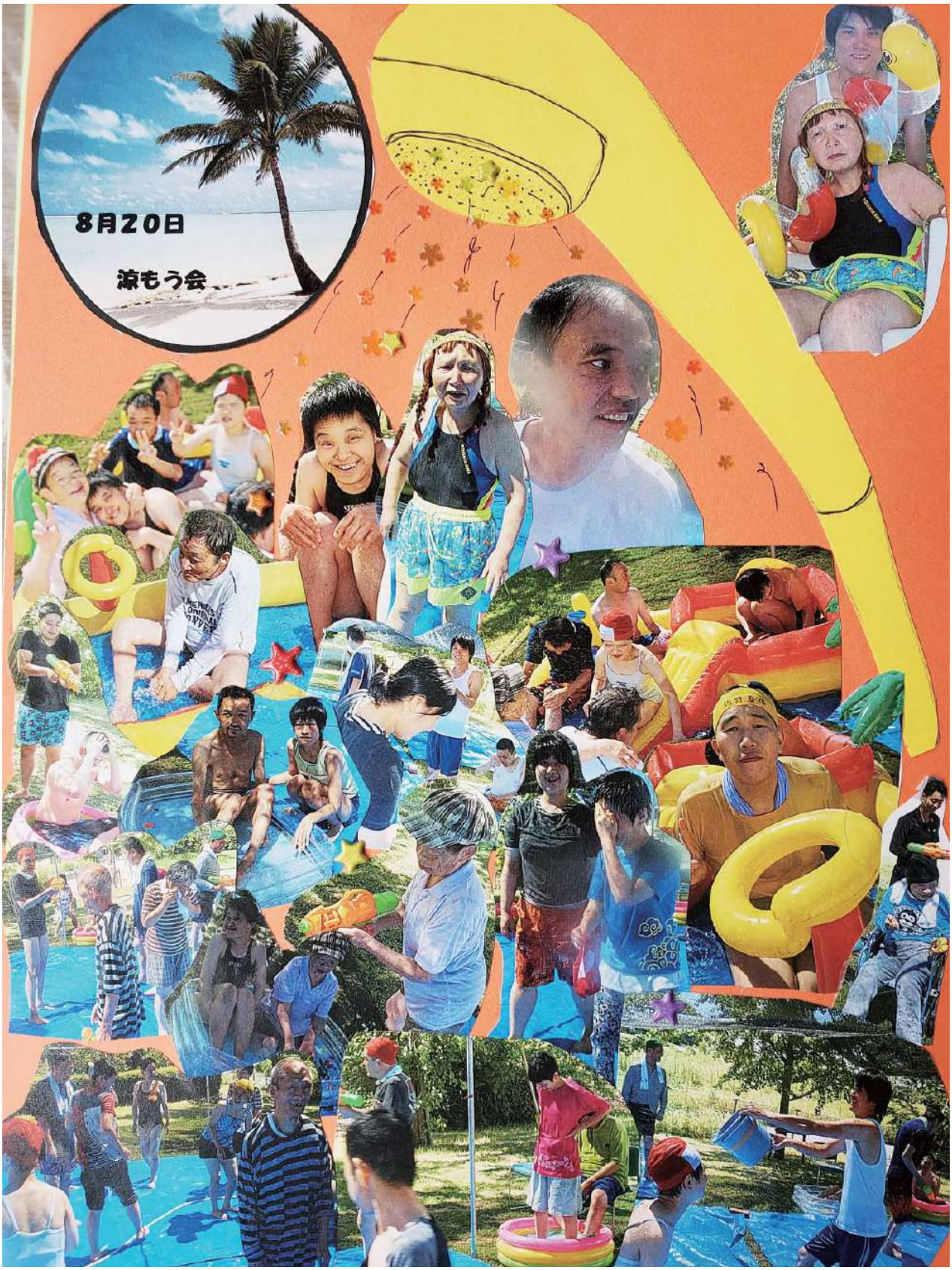
平成１３年	４月	入所更生施設しょうぶの里開設（入所定員３０名）
		デイサービス・ショートステイ開始
	５月	しょうぶの里　落成式
	１０月	しょうぶの里まつりスタート（地域交流）
平成１４年	４月	１周年記念式典
	１０月	ホーム千金甲　自活訓練・宿泊訓練開始
平成１５年	４月	デイサービス家族会発足（あおば会）
		ホーム千金甲　自活訓練開始
平成１６年	２月	ホーム千金甲開設（定員４名）
平成１９年	７月	福祉ホームぎんなんからグループホームぎんなんへ移行
平成２０年	４月	デイサービス新体系移行（生活訓練　生活介護）
平成２１年	４月	通所新作業棟　完成
平成２３年	４月	入所新体系移行
		障害者支援施設しょうぶの里に改称
	１１月	しょうぶの里１０周年記念式典
平成２５年	１２月	新居室棟　完成
平成２８年	１月	グループホームあいりす開設（定員７名）
	４月	熊本地震
	６月	しょうぶの里まつり初の中止
令和３年	１２月	２０周年記念式典

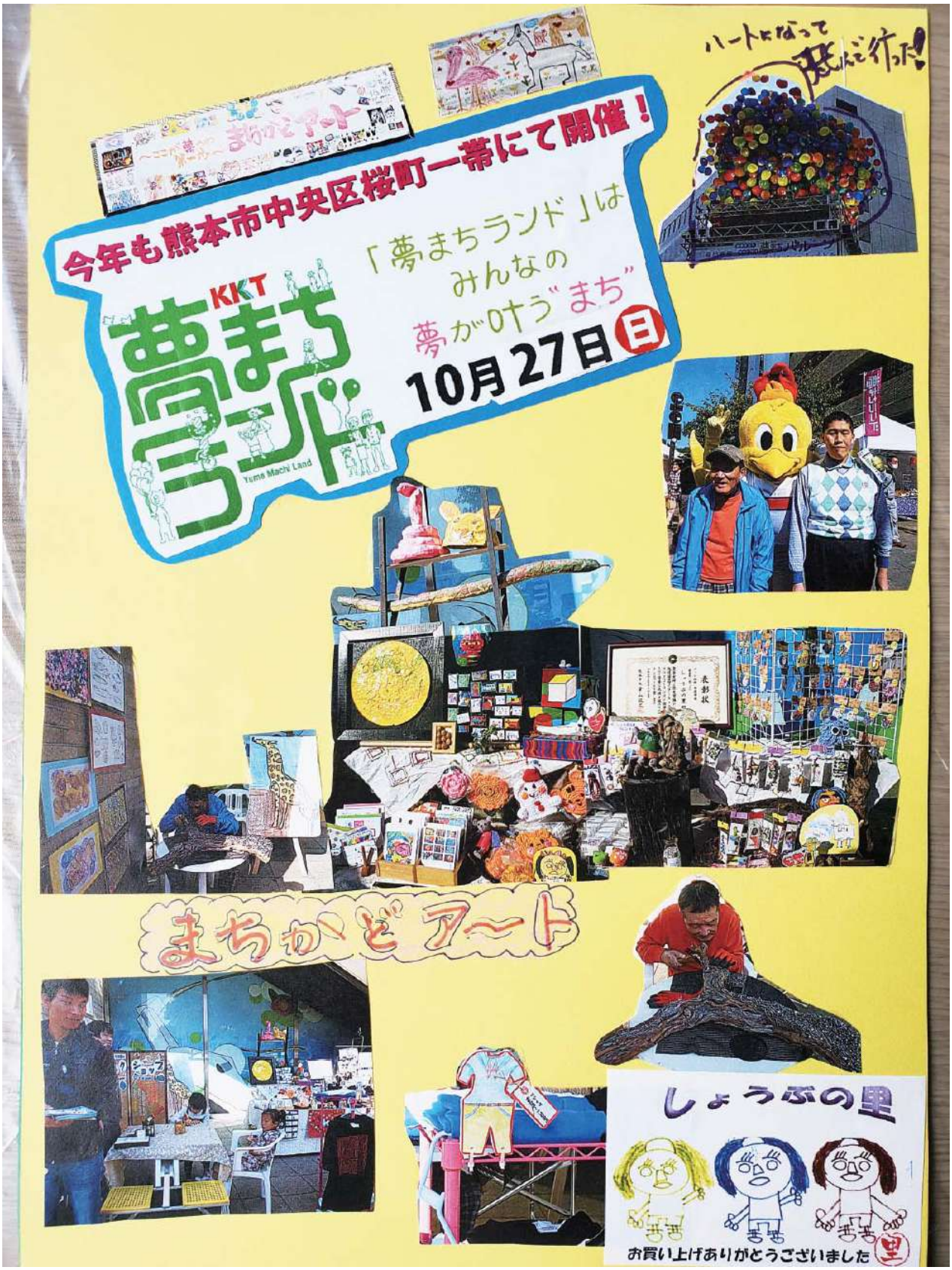
ランチ
おり姫
メロン
筑前煮
七夕散らし寿司
そうめん汁
ゼリー作りました
七夕おやつ
7月6日


1月28日 パンバイキング
adidas


12月21日
クリスマス&忘年会
ホテル日航にて

９１名参加
平成２５年６月１４日
里まつり打ち上げ＆親睦・懇親ＢＢＱ
第1回
里まつり
打ち上げ&交流・親睦
バーベ


8月20日
涼もう会


今年も熊本市中央区桜町一帯にて開催！
KKT
夢まちランド
Yume Machi Land
「夢まちランド」は
みんなの
夢がかなうまち
10月27日(日)
ハートになって
まちかどアート
しょうぶの里
お買い上げありがとうございました

木瀬部屋 肥後の龍
H25.11. 26
満員御礼
木瀬部屋
のみなさん
ようこそ
満員御礼
木瀬部屋
のみなさん
ようこそ

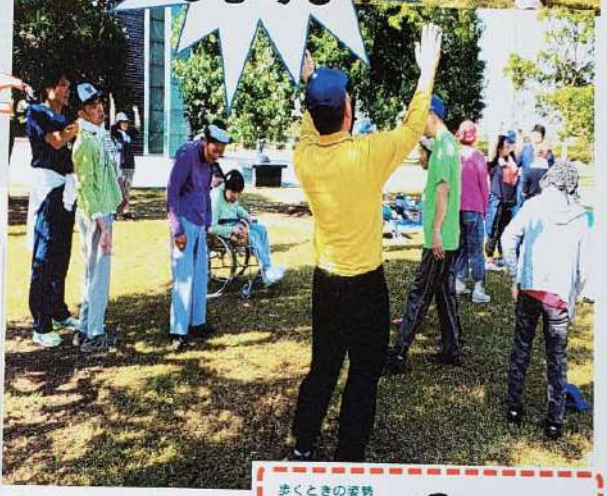
2月4日 節分
ゲームで楽しみました
職員とバッスル

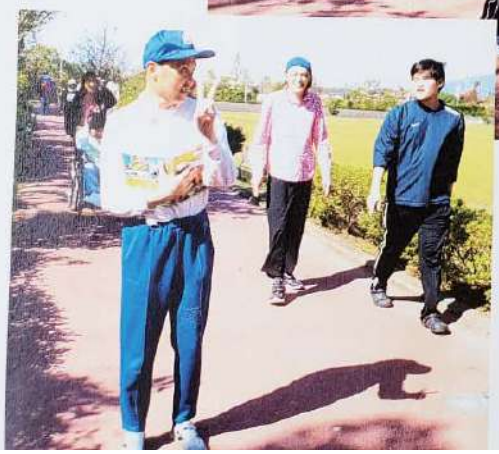
歩こう会

10月22日

アクアドームにて

準備体操しますよ！





バンザイ隊　登場

バンザイ　バンザイ
バーンザイ

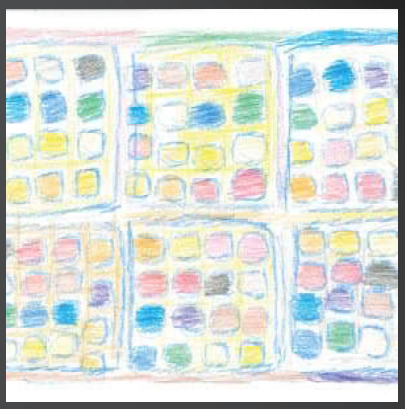
しょうぶの里　アート活動歴

２００１．４	開設
２００３.１１	現在の活動に移行開始 〈その人がやりたいこと・好きなことを活かした取り組み〉
２００４．６	しょうぶ里まつりギャラリー展　開催
.１０	「エイブルアート展 in 原鶴」に出展（原鶴温泉）
２００５．６	しょうぶの里まつりギャラリー展　開催
７	「Be Good Café」に出展（ルナ天文台）
８	しょうぶの里展（Café ブリランテ）
１２	「アートパレード」に出展（熊本現代美術館）
１２	「ハートウィーク」関連イベントへの参加 （ビプレス広場）
２００６．４	「アールブリュットかわいい雑貨たち展」出展 （Café ダーチャ / 大阪）
５	「マーブル展」に出展（Chinatsu）
２００６．６	しょうぶの里まつりギャラリー展　開催 （ウィンドファーム + ギャラリー創 / 宮崎）
９	「lnno cently ５+」に出展　（スペース談）
１２	「ハートウィーク」関連イベントの参加 （内野さん）（びぷれす広場）
２００７．１	「マーブル展」に出展 （ヴァンテアンレンタルスペース）
５	「マーブル展」に出展　（chinatu）
６	しょうぶの里まつりギャラリー展　開催
６	リトルミィ委託販売契約
７	しょうぶの里作品展（café 凛屋）
７	翼ハロー歯科診療所開設記念内覧会　出展
９	しょうぶの里展　（café　ブリランテ）
１０	神戸ビエンナーレ 2007 （神戸メリケンパーク）

２００７.１０　True ＆ livi 展　（熊本城南大手門二階）
～日常にある真実はここにある～
１１　「アートパレード」に出展（熊本現代美術館）
２００８．１　ガヤガヤ仲間の作品展（サンブンギャラリー）
２　長崎書店　合同作品展
３　育成会チャリティーバザー（熊本興南会館）
６　しょうぶの里まつりギャラリー展　開催
７　県庁ふれあい喫茶りんどう作品展示販売
８　COLORA　（グランメッセ二階）
～ハンドメイドの洋服と小物・雑貨店～
９　陽展　～しょうぶの里作品展～
（南阿蘇白水郷美術館）
１０　平成ふれあい祭　作品販売
１１　くまもとハートウィーク
～県内の障がい者芸術展～（県立美術館）
２００９．２　「アートパレード」に出展（熊本市現代美術館）
２　政令指定都市 PR　カラー広告
電車・バス企画コンペ出展（内野さん）
８　子育て応援フェスタ
～ハンドメイド＆わくわくマーケット～
９　しょうぶの里展　（Café ブリランテ）
１１　くまもとハートウィーク　（県立美術館分館）
～県内の障がい者芸術展～
１１　カリーノ下通　心の箱（クローバーアート主催）
２０１０．２　「アートパレード」に出展（熊本市現代美術館）
１１　くまもとハートウィーク
～県内の障がい者芸術展～

内野さん作家デビュー
（エイブルアートジャパンに登録）
２０１１．２　「エイブルアート展 in」に出展
３　城彩苑イベント物品販売
７　県庁ふれあい喫茶りんどう作品展販売
８　しょうぶの里　With おも屋

２０１１．７　喫茶りんどう作品展　（熊本県庁）
　　８　母屋　しょうぶの里作品展（菊陽町）
２０１２．１　高遊原カントリークラブ作品展
　　１１　アールブリュット展（佐賀県）松下さん出展
２０１６.１２　全国障害者公募展　みんな北斎
　　「お友達」審査員特別賞　寺本さん
２０１７．１　第２８回　熊本市民芸術アートパレード
　　「小島地図」奨励賞　　濱崎さん
　　２　しょうぶの里作品展　（喫茶画廊　ジェイ）
　　１０　障がい者芸術際　（県立美術館分館）
　　８人作家の８作品出展
　　１０　生の芸術　（熊本県立美術館）
　　１１　ワンダフル世界くまもと　山鹿（天聽の蔵）
２０１８．４　自閉症啓発デー
　　「風神」「雷神」出展　内野さん
　　６　「感じょう＋ ONE」まちなか展覧会
　　作品出展　松下さん　内野さん　森山さん
　　６　アールブリュットジャポネ展（パリ）
　　作品出展打診　松下さん
２０１９．８　はあもにい作品展（男女参画センターはあもにい）
　　１０　福祉大会　熊本県立劇場
　　「のこぎり」銅賞受賞　山下さん
　　１０　生の芸術 ArtBrut 展覧会 Vol.5
　　１１　全国手をつなぐ育成会熊本大会
　　作品出展（熊本城ホール）
２０２０．１　はあもにい作品展（男女参画センター）
　　６　第６回東北障害者芸術展　Art to You!
　　厚生労働大臣賞　松下さん
　　入　賞　　内野さん
２０２１.１１　第７回東北障害者芸術展　Art to You!
　　優秀賞　　濱崎さん
　　入　選　　清田さん（通所）
　　船場蔵屋敷　　しょうぶの里作品展（宇土市）
　　おも屋　しょうぶの里作品展（菊陽町）

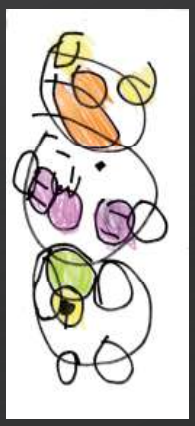


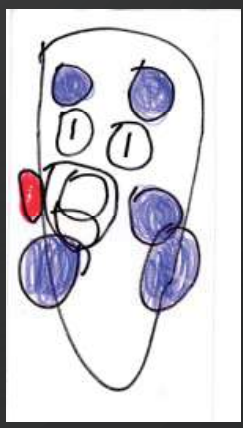
めがね
きんぎょを

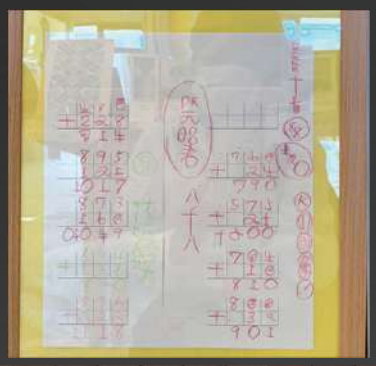
優秀賞
作品にはお手を触れないようお願いいたします。

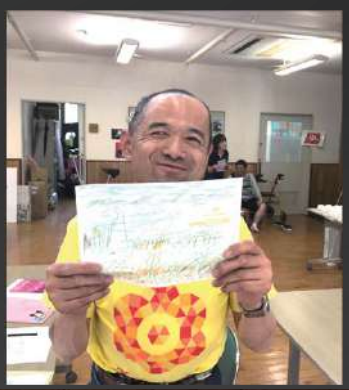
TEPU
TEPU
TEPU

伊達 直人
タイガーマスク

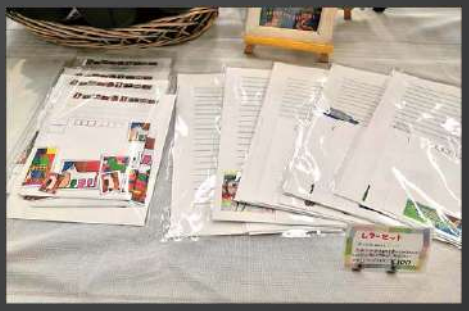








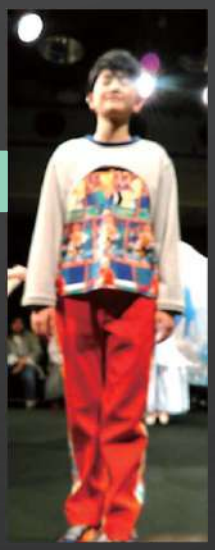
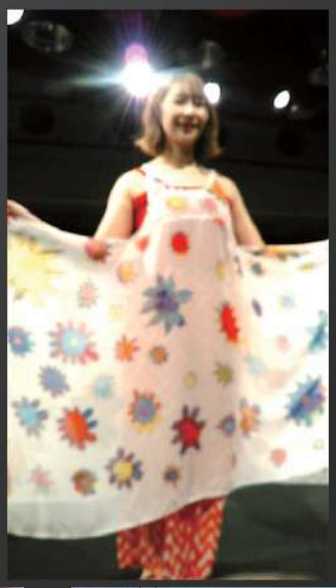
里まつりで販売されたグッズ

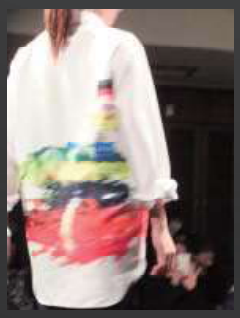


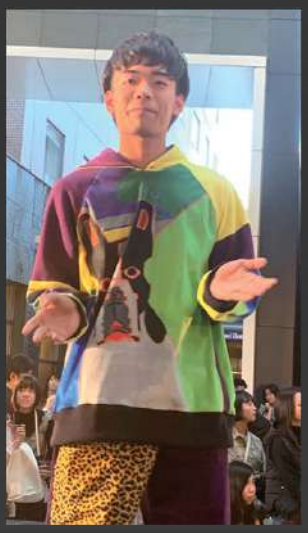
熊本デザイン専門学校

ファッションデザイン科卒業制作

２０１５～





しょうぶの里
恒例の

年間行事

4月 April

春のピクニック
カドリードミニオンと
阿蘇望の郷へ

5月 May

非常食De・Lunch
非常食も意外にイケます！

6月 June

しょうぶの
~~星~~夏まつり

よいしょっと！！

本日の
ビッグイベント！
スイカ割り

おやつバイキング
パンやアイスクリームなど
がありました

7月 July

七夕まつり

もしかして
織姫と彦星？？

8月

白くまコンテスト

おいしそうな白くまが
たくさんできました

白くま製作中
(*^^)v

1

2

9月

Take Out Lunch

いろんなお店のテイクアウト
トメニューで満足満足♡

後のお買い物

10月 October

お月見会

美味しいお月見弁当を食べた
後はみんなで《ひょっとこ踊
り》を踊りました。

11月

秋のピクニック

カドリードミニオンへ出かけました。
動物たちとの触れ合いでは、愛おしそうに抱
える人、恐る恐る触っている人、怖くて触れ
ない人と様々な反応でした。

12月
クリスマス &忘年会
怪しげな
しょうぶの里男性職員の
4羽の白鳥
お疲れさま

1月
書初め大会
加藤神社へ初詣
これで
どう？
う～ん
むずかしかぁ
よし！
できた！

2月
Happy Valentine's Day
チョコ作り♡
節分
鬼は～外
福は～内

3月
お花見
Happy White Day
ホワイトデーの
お菓子つくり♡
出来上がり(*^^)v

通所グループ

わくわく活動

わくわく活動　ナミ像（萌の里）

わくわく活動　ルフィ像（県庁）

コロナ前　街へ外出

わくわく活動　サンジ像

畑のネギを使って
たこやき作り

おいしくできたよ！

うどん作り（粉から練りました）

焼き芋

美味しいなぁ

パンケーキ作り

手作りサクランボのジャムをのせて

サクランボ収穫

バーベキュー

マシュマロも焼いておいしかったよ。

リサイクル活動　缶つぶし

工賃渡し

今月もよくがんばりました!!

水遊び

ぜんざいづくり

書き初め

駄菓子屋さん

雑巾づくり

公園散策

1 枚のハガキコンテスト
（岡本さん作）

1 枚のハガキコンテスト応募
（森田紗代さん作）

クリスマス飾り作り

Art To You 東北障がい者
芸術展　清田さん入賞

アマビエ（古賀さん作）

血のりで
ハロウィン
メイク

ハロウィン
仮装

ぎんなん

千金甲

あいりす

皆様のお陰で２０周年を迎えることができました
これからもよろしくお願いいたします

障害者支援施設　しょうぶの里２０周年記念誌

令和３年 12 月 17 日

熊本市手をつなぐ育成会

障害者支援施設　**しょうぶの里**

〒 861 - 5287　熊本市西区小島９丁目 14 - 58

TEL 096 - 311 - 4588　FAX 096 - 329 - 9411

・入所施設
・日中一時支援
・短期入所
・生活介護（通所）
・グループホーム